

資料1

令和4年度 村上市立図書館の活動評価

[基本評価]

① 利用状況

項目	2年度	3年度	4年度	達成率 (%)	評価
入館者数(人)	71,937	91,650	93,766	102.3	A
個人貸出冊数(冊)	121,959	139,386	132,949	95.4	C
貸出人数(人)	30,515	33,898	37,191	109.7	A
予約件数(人)	10,344	13,174	12,841	97.5	C
新規登録者数(人)	493	499	412	82.6	D
登録者数(人)	16,275	16,796	17,313	103.1	A
インターネット端末利用数(件)	1,260	1,453	1,166		
開館日数(日)	256	290	289		
郷土資料受入点数(点)	168	148	182	123.0	AA
利用満足度(%) (全体的な満足度) (たいへん満足＋やや満足)	77.3	91.3	82.5		

②管理運営費(各年度の決算額)

項目	2年度	3年度	4年度
中央図書館経費	16,678	17,397	17,629
地区図書館・分室経費	1,050	1,049	1,049
(うち資料費)	(1,000)	(1,000)	(1,000)
図書館ネットワーク等経費	40,188	40,201	40,507
(うち資料費)	(7,500)	(7,500)	(7,500)

重点事項 1

読書バリアフリー法に基づく読書環境整備の推進

○重点事項達成に係る事業： 図書館資料整備事業

《事業概要》

障害の有無に関わらず、全ての市民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恩恵を受けられるよう、視覚障害者等の読書環境の整備の推進を図る。

《事業実績》

① 点字資料、大活字本のほか、新たにLLブックを蔵書に取り入れ、読書バリアフリー法に関する特別展示コーナーで紹介した。また、市報に朗読CDに関する記事を掲載し、周知を図った。

【読書バリアフリー関連蔵書数】()内はR4整備数。

点字資料103(0)、大活字本1,724(59)、朗読CD301(0)、音声デジター109(0)、LLブック37(5)、音が出る絵本1(0)、手話絵本14(0)

《事業評価(自己評価・年間評価)》

事業	評価	評価理由
①	B	出版点数が多くないなか、新刊情報を確認して可能な限り購入したが、利用が見込まれる層への広報周知に工夫が必要と考えるため。

《今後の課題・方向性》

- ・職員の専門性向上:障害者向けサービスの向上
- ・ニーズの把握、周知、広報
- ・予算の確保:資料の充実や障害者サービス用の機器・支援用具の整備

重点事項 2

地区図書室の整備

○重点事項達成に係る事業： 図書館ネットワーク等事業

《事業概要》

- ①さんぽく会館竣工に伴う山北図書室の環境整備
- ②各地区図書室のニーズをとらえた資料の整備

《事業実績》

①山北図書室内の利用しやすい動線の確保、書架の配置、乳幼児の利用を想定したユニバーサルデザインの実現。全ての資料を確認し、経年劣化した資料の除籍(504冊)を行い、新刊図書等(161冊)を整備・配架した。

②地区図書室の資料整備状況は次のとおり。

* 荒川：資料数【R3】5,084冊→【R4】5,252冊(購入157冊・除籍2冊)

購入(分類別):総記:2 哲学:4 歴史:5 社会科学:17 自然科学:20 工学:18 産業:7 芸術:5 語学:2 文学:39 絵本:38

* 神林：資料数【R3】4,208冊→【R4】4,355冊(購入145冊・除籍7冊)

購入(分類別):総記:4 哲学:4 歴史:4 社会科学:15 自然科学:10 工学:16 産業:4 芸術:8 語学:1 文学:37 E絵本:42

* 山北：資料数【R3】5,052冊→【R4】4,720冊(購入161冊・除籍504冊)

購入(分類別):総記:9 哲学:4 歴史:7 社会科学:22 自然科学:18 工学:18 産業:9 芸術:3 語学:3 文学:27 E絵本:41

※参考:令和4年度資料整備状況

(単位:冊)

	中央図書館	移動図書館	朝日	荒川	神林	山北	全体
一般	2,198	324	80	72	67	68	2,809
児童	894	346	83	85	78	93	1,579
計	3,092	670	163	157	145	161	4,388

《事業評価(自己評価・年間評価)》

事業	評価	評価理由
①	A	新装された山北図書室の開館に併せて、除籍や読書環境の整備を行うとともに、限られた予算の中で利用促進につながるよう新刊図書の購入に努めたため。
②	B	限られた予算の中で利用促進につながるよう新刊図書の購入に努めたが、新たな利用者の取り込みに工夫が必要と考えるため。

《今後の課題・方向性》

- ・資料整備のための予算確保に努める。
- ・地区図書室が保有する地域資料等を活用した展示を企画するなど、地域の方々や新たな利用者の開拓に努める。